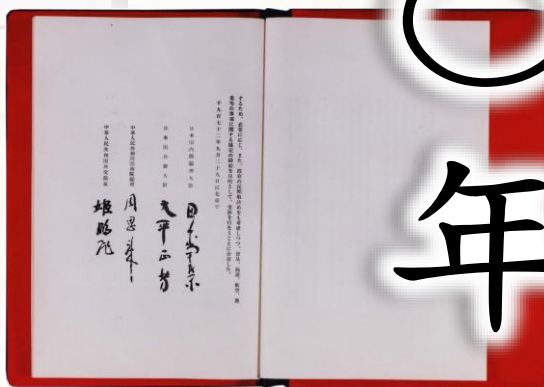
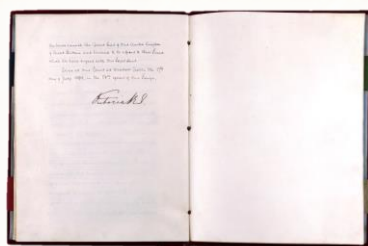
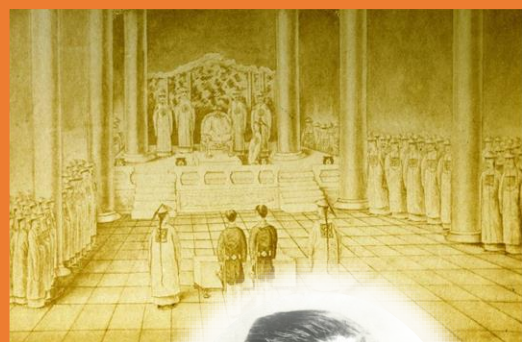


外務省創設一五〇年記念

外務省外交史料館特別展示

日本外交の一五〇年



主催：外務省外交史料館

開催期間：令和元年7月2日(火)～10月4日(金)

開館時間：10時～17時30分(土日・祝日を除く)

※7月27日(土)及び8月24日(土)は開館します

会場：外務省外交史料館別館展示室

(東京都港区麻布台1-5-3) TEL:03-3585-4511(代表)

日英通商航海条約(批准書)、ハル・ノート、沖縄返還協定(調印本書)、日中共同声明等、原本史料17点を展示

入場無料

外務省外交史料館特別展示 日本外交の150年

令和元(2019)年は、明治2(1869)年に外務省が創設されてから150年の節目の年に当たります。本展示では、150年の間に結ばれた諸外国との条約書等を中心に、外務省が所蔵する史料を通して、日本外交150年の歩みをご紹介します。本展示がこれまでの日本外交の歩みをお伝えするとともに、これからの日本外交の在り方を考えて頂くきっかけとなれば幸いです。

日英通商航海条約（批准書）

明治27（1894）年7月16日調印
同年8月25日批准書交換



本条約締結により、日本は領事裁判権の撤廃、関税自主権の一部回復を達成し、外務省創設以来の重要外交課題であった不平等条約の改正は大きく前進した。

沖縄返還協定（調印本書）

昭和46（1971）年6月17日調印
昭和47（1972）年5月15日発効



日本側愛知揆一外相、米国側ロジャース国務長官が署名。本協定の発効により、沖縄の施政権はアメリカから日本に返還された。

【常設展示史料の原本特別展示】

当館では、幕末から第二次世界大戦終結までの時期を中心に、重要な外交文書を常設展示しております。史料保護の観点から、通常はレプリカを展示しておりますが、今回特別に下記の通り、史料の原本を展示します。この機会に重要外交文書の原本をぜひご覧ください。

展示期間	史料名
7/2～7/12	外務省法則
7/16～7/26	樺太千島交換条約
7/27～8/9	日清講和条約
8/13～8/23	日露講和条約
8/24～9/6	ヴェルサイユ講和条約
9/9～9/20	日独伊三国同盟
9/24～10/4	サンフランシスコ平和条約



日露講和条約（批准書）



日独伊三国同盟（調印書）

日中共同声明

昭和47（1972）年9月29日調印



日本側田中角栄総理、大平正芳外相、中国側周恩来国务院総理、姬鵬飛外交部長が共同声明文に署名。これにより、日本と中国の国交が正常化した。

外務省外交史料館

TEL:03-3585-4511
FAX:03-3585-4514
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/>

南北線 六本木一丁目駅 徒歩8分
大江戸線 六本木駅 徒歩10分
日比谷線 六本木・神谷町駅 徒歩10分
都営バス (渋88)「麻布台」バス停徒歩1分
(反96)「飯倉片町」バス停徒歩3分

